

Yell

～絆を深めて Keep Smile～

第81号 令和2年11月4日(水)

スポーツの日特集：6年生は小学校生活最後の体育行事



ここで何度も運動会、と書きたくなるほど、子ども達の動きはとても立派でした。

「ヤー！」人生で、この掛け声を出すことも少なくなりました。6年生の子ども達は、最高のチームワークで入場してきます。

今回は、ふだん取り組めないような試みをしました。ダンス委員を募集し、子どもが中心になって振り付けを考えたのです。中学校に進学すれば、このようにして自主的に活動する機会がもっと増えます。中学校教員の瀧口先生が、コロナ禍でも、最高の思い出をつくることできるようにと、試行錯誤しながら子ども達のために活躍の場を作りました。

バトンパスは、流石最高学年としての力強さ！



最高学年として、最後の体育行事を心置きなく終えたい。そんな強い思いが伝わってきました。バトンがうまく行きわたらなくても、強い思いを伝えようと必死に表情にする姿に感動しました。

今年度は、全員が応援団！それぞれの学年を盛り上げました。



今年度は、全員が各担当の学年の応援団になりました。自分の学年が来ると、ご覧のように前に出て行って、力いっぱい応援します。また、他の学年の応援団を盛り上げるために、ご覧のようなメガホンを手作りして、一生懸命応援しました。

一つ一つの取組が初めてで、手探りでしたが、その分子ども達の温かさが随所に伝わるような素晴らしい応援団でした。



6年生は 影の応援団！？準備から片付けまで。

前日、子ども達に与えられた仕事分担はほんのわずか。各担当はこう付け加えました。

「自分で仕事を見つけよう。」
6年生の素晴らしさが発揮されました。



決められたマニュアル通りでは、どうしても受動的になりがち…。しかし、子ども達は本当に主体的な姿を見せてくれました。

片付けも、ほんの5分で終わりました。感動しました。



「〇〇してもいいですか？」
教室が気付いた時には、自分たちで仕事を見つけ、活躍する姿を見せてくれました。

準備、本番、片付け…どれをとってもきびきびと動き、臨機応変に対応する6年生。

